※令和４年度以降入学生用

学校番号	319

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	新高等保健体育 （大修館書店）						
副教材等	図説新高等保健 （大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、健康の考え方、生活行動について学んでいこう。

また、日常生活で直面することが考えられる健康課題や、実際に起こっている健康時事問題に興味を持ち、将来にわたって自分自身が健康な生活を送ることができるように努力していこう。

2　学習の到達目標

・生涯に通じる健康・健康を支える環境づくりについて理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
・生涯に通じる健康に健康を支える環境の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（思考力・判断力・表現力等）
・生涯
を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	(a)知識・技能	(b)思考・判断・表現	(c)主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりをめざし，明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識の変化と性行動の選択	(a)思春期に起こる心の変化や性意識の男女差について，正しい知識をもつことができる。 ・生殖器の成長によって，生殖機能が備わることについて，正しい知識をもつことができる。 (b)男女の性意識の違いについて知り，自らの行動に適切に反映することができる。 ・二次性徴におけるからだの成長について，自らのからだの変化と関連づけて考えることができる。 (c)思春期の心の変化について知るとともに，男女の性意識の違いについても積極的に学習できる。 ・男女の生殖器官の発達について，それぞれ，積極的に調べることができる。	定期考査	定期考査	観察
		結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画	(a)結婚に関する制度と，家庭が健康に果たす役割について，正しい知識をもつことができる。 ・受精の仕組み，妊娠の経過，出産の過程について男女とも正しい知識をもつことができる。 ・人工妊娠中絶による影響や生殖補助医療技術の発達による新たな問題について，正しく理解できる。 (b)結婚の意義や家庭と健康のかかわりについて，自らの家族や将来に当てはめて考えることができる。 ・女性は，自らが経験するかもしれないこととして，男性も課題を見つけて考えることができる。 ・家族計画の重要性を認識し，自らの将来に当てはめて考えることができる。 (c)健康の保持・増進のために，家庭が担う役割について，積極的に調べることができる。 ・受精から妊娠，出産までの過程のメカニズムについて，教科書などから積極的に調べることができる。 ・家族計画を立てることの重要性を理解し，人工妊娠中絶による心身への影響などについても積極的に学習できる。	定期考査	定期考査 ワークシート 発表	観察
		加齢と健康 高齢社会に対応した取り組み	(a)加齢による心身の変化や，高齢期の健康課題について理解する。 ・若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。 (b)加齢による心身の変化について，自らの将来に当てはめて考えることができる。 ・高齢期には，加齢に伴い，心身の機能や形態が変化すること，その変化には個人差があること，疾病や事故のリスクが高まること，健康の回復が長期化する傾向にあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 (c) 加齢に伴う心身の変化や壮年期以降の健康課題，高齢社会における取り組みなどについて，積極的に調べることができる。	定期考査	定期考査 ワークシート 発表	観察

※令和４年度以降入学生用

前期	生涯を通じる健康	働くことと健康 労働災害の防止 働く人の健康づくり	(a)労働者を守るしくみを知り，労働環境の変化にともなう健康問題について，正しい知識をもつことができる。 ・労働災害の実態，その原因や防止のための対策について，正しい知識をもつことができる。 (b)職業選択の際の注意点について，自らの将来に当てはめて考えることができる。 ・労働災害の原因を正しく理解し，将来労働災害に遭わないための適切な行動について考えることができる。 (c)労働と健康のかかわりや健康生活を送るための職場・家庭・地域の役割について，積極的に学習できる。 ・労働災害について考え，労災防止のための対策などについて，積極的に学習できる。	定期考査	定期考査 ワークシート 発表	観察
後期	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康	(a)大気汚染の定義と，健康に被害を及ぼす物質などに関する，正しい知識をもつことができる。 (b)大気汚染による健康被害を防止するための対策を，積極的に考えることができる。 (c)大気汚染による健康被害を防ぐためには，どのような対策が必要であるかを積極的に調べることができる。	定期考査	定期考査 グループワーク	観察 グループワーク 発表
		水質汚濁・土壌汚染と健康	(a)自然環境の水を通した循環について知り，水や土壌の汚染が発生の経過や，防止のために行われている対策などについて，正しい知識をもつことができる。 (b)水質汚濁や土壌汚染を防止するために，私たちが行うことができる身近な対策を考え，自らの行動に反映することができる。 (c)水質汚濁や土壌汚染による健康被害について，その原因と対策を積極的に調べることができる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表
		健康被害を防ぐための環境対策	(a)有害な化学物質による健康被害の危険性や，それらの管理方法について正しい知識をもつことができる。 (b)産業廃棄物問題を自らの健康にも直接かかわる問題として捉え，考えることができる。 (c)産業廃棄物処理問題の構造と，その解決策について，積極的に課題を見つけ，学習することができる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表
		環境衛生に関わる活動	(a)ゴミ処理の 4 つの方法や上下水道の仕組みなどについて，正しい知識をもつことができる。また，ゴミの減量化に向けた3R 運動などの取り組みについて，正しい知識をもつことができる。 (b)上下水道の設備やゴミの分別など，身近な問題として捉え，考えることができる。 (c)環境衛生向上のための上下水道の整備方法やゴミ処理方法について，積極的に課題を見つけ，学習できる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表

※令和４年度以降入学生用

後期	健康を支える環境づくり	食品の安全性と健康 食品の安全性を確保する取り組み	(a)食品による健康被害と，その予防のために行われている対策について，正しい知識をもつことができる。 (b)自らの食生活において，健康被害に遭わないために必要な行動を，適切に選択することができる。 (c)食品によって起こる健康被害や，防止のための対策などについて，積極的に調べることができる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表
		保健制度とその活用 医療制度とその活用	(a)わが国の保健行政・医療制度などについての，正しい知識をもつことができる。 ・わが国の保健行政・医療制度などについての，正しい知識をもつことができる。 (b)わが国の保健・医療に関する制度について，自らの健康の保持・増進に直接かかわるものとして捉え，考えることができる。 ・わが国の保健・医療に関する制度について，自らの健康の保持・増進に直接かかわるものとして捉え，考えることができる。 (c)わが国の保健行政や医療制度などについて，その具体的な施策などを，積極的に調べることができる。 ・わが国の保健行政や医療制度などについて，その具体的な施策などを，積極的に調べることができる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表
		医薬品の制度とその活用	(a)医薬品の効果と副作用に関して，安全に使用するための正しい知識をもつことができる。 (b)医薬品を正しく使用するための情報を日常生活に当てはめて，適切に選択することができる。 (c)医薬品の効果と危険性の両面について理解し，日常生活における医薬品の危険性について積極的に考えることができる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表
		様々な保健活動や対策	(a)わが国で行われている保健活動について，正しい知識をもつことができる。また，国際的に行われている保健活動について，正しい知識をもつことができる。 (b)自らの健康の保持・増進をはかるために，ヘルスプロモーションの考えに沿って積極的に調べ，さまざまな保健対策を利用することができる。 (c)わが国や世界で行われている保健活動や対策について，積極的に調べることができる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表
		誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	(a)健康の保持増進のための環境について，正しい知識をもつことができる。また，ヘルスプロモーションを進めるための取り組みについて，正しい知識をもつことができる。 (b)健康を保持・増進するのに必要な取り組みについて調べる適切に活用することができる。 (c)健康増進の取り組みについて，自らの生活に当てはめて考え，積極的に健康増進を図ろうとすることができる。	定期考査	定期考査 課題作成 課題発表	観察 課題発表

※表中の観点について(a)知識・技能(b)思考・判断・表現(c)主体的に学習に取り組む態度